

【全体目標】「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての県民とがんの克服を目指す。」
 がんによる死亡率(75歳未満年齢調整死亡率)を6年間で12%減少

がん予防分野

【分野別目標】

① 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
 ～がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す～

(1)がんの1次予防

- ①生活習慣について
- ②感染症対策について

(2)がんの2次予防(がん検診)

- ①受診率向上対策について
- ②がん検診の精度管理等について
- ③科学的根拠に基づくがん検診の実施について

がん医療分野

【分野別目標】

② 患者本位で持続可能ながん医療の提供～適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す～

(1)がん医療提供体制等

- ①医療提供体制の均てん化・集約化について
- ②がんゲノム医療について
- ③手術療法・放射線療法・薬物療法について
- ④チーム医療の推進について
- ⑤がんのリハビリテーションについて
- ⑥支持療法の推進について
- ⑦がんと診断された時からの緩和ケアの推進について
- ⑧妊孕性温存治療について

(2)希少がん及び難治性がん対策

- (3)小児がん及びAYA世代のがん対策
- (4)高齢者のがん対策

がんと共生分野

【分野別目標】

③ がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築
 ～がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す～

(1)相談支援及び情報提供

- ①相談支援について
- ②情報提供について
- (2)社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援
- (3)がん患者等の社会的な問題への対策(サバイバーシップ支援)

- ①アピアランスケアについて
- ②がん診断後の自殺対策について
- ③その他の社会的な問題について
- (4)ライフステージに応じた療養環境への支援

- ①小児・AYA世代について
- ②高齢者について

【分野別目標】

④ 働きながらかん治療を受けられる環境の整備
 ～がんになっても自分らしく生き活きと働くことができる社会の実現を目指す～

(1)がん患者等の就労支援について

- (2)治療と仕事の両立環境の整備について

これらを支える基盤の整備

- (1)人材育成の強化 (2)がん教育及びがんに関する知識の普及啓発 (3)がん登録の利活用の推進 (4)患者・市民参画の推進 (5)デジタル化の推進

がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- 1. 関係者等の連携協力の更なる強化 2. 感染症のまん延や災害等を見据えた対策 3. 県民の努力 4. 目標の達成状況の把握 5. 計画の見直し